



喫煙と周術期

麻酔科部長
中井 愛子

麻酔科標榜医

日本麻酔科学会指導医・専門医・認定医

禁煙は、術前準備の第一歩

喫煙で肺炎などの合併症の危険性が増え、傷の治りも悪くなります。
禁煙で術後の回復を早くしましょう。

NO SMOKING

- 1 喫煙で種々の周術期合併症は増加し、術後の回復が遅延する。
- 2 術前患者には喫煙の有無を確認し、喫煙者には禁煙の意義と目的を理解させ、禁煙を促す。
- 3 手術前のいつの時点からでも禁煙を開始することは意義がある。
- 4 手術直前の禁煙でも周術期合併症の増加はみられない。
- 5 可能な限り長期の術前禁煙は、周術期合併症をより減少させる。
- 6 受動喫煙も能動喫煙と同様に手術患者に悪影響を及ぼす。
- 7 敷地内禁煙などの無理環境の確立は重要である。
- 8 禁煙指導は術前禁煙を促進し、術後の再喫煙率を低下させる。
- 9 周術期禁煙を契機とし、生涯の禁煙を目標にする。
- 10 周術期禁煙チームや外科系医師、管理外来など他職種と協同して周術期禁煙を推進する。

公認指導医 日本麻酔科学会
〒430-0047 静岡県浜松市東区東山町1-1-1 日本麻酔科学会センタービル3F
TEL: 053-306-5945 FAX: 053-306-5946
URL: <http://www.jmsa.or.jp/>



喫煙者の死亡率



肺がん4.5倍



脳血管疾患1.7倍



心疾患1.7倍



喫煙者の周術期合併症

創感染

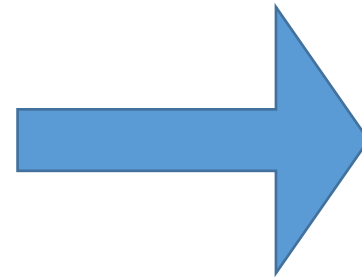
感染症

肺合併症

脳神経合併症

集中管理期間、入院期間

偽関節 骨癒合障害



増加



健康な歯肉はタバコを吸うだけで



歯についた歯石と着色



タバコで黒ずんだ歯肉



汚れの付着した舌



受動喫煙(Second-hand smoke) の危険性





受動喫煙関連の死亡者数

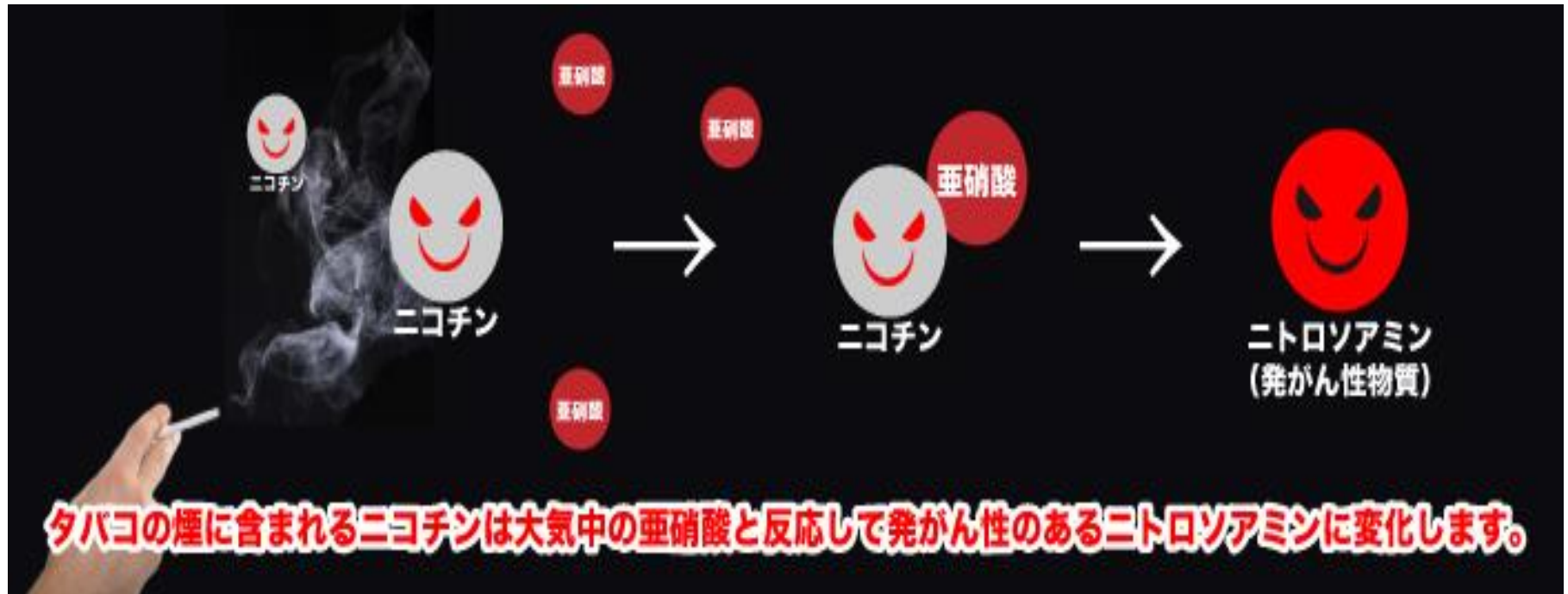
1万5000人/年間

国立がん研究センターより





三次喫煙(Third-hand smoke)





There is **no** safe level of exposure to tobacco smoke.

American Academy of Pediatrics





手術は禁煙するチャンス！！





周術期合併症を減らすために

家族も一緒に
4週間以上

カウンセリング

禁煙補助薬

